



高浜小だより

令和2年11月11日発行
高浜町立高浜小学校
Takahama elementary school



校庭の木々の葉が赤や黄色に色付き、秋の深まりを感じる今日この頃です。このところ、朝晩の冷え込みが厳しくなり、風邪などを引きやすい季節となりました。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のためにも、例年以上に自分自身の体調管理をしっかり行うことが求められており、無意識のうちに緊張した日々を送られている方も多いのではないのでしょうか。

11月9日(月)に行われた新型コロナウイルス感染症対策分科会後の記者会見において、尾身茂会長(地域医療機能推進機構理事長)から、「現在の国内の感染状況について一言で言えば、徐々に感染が全国的に見ても増加しているのは間違いない。」と総括され、「感染防止策を早急に強めなければ、急速な拡大傾向に至る可能性が高い。」とし、クラスター連鎖などの危険性も強調し、さらなる感染対策の徹底を呼びかけています。

学校でも、マスク着用や小まめな換気、手洗いなどの基本的な感染予防対策を行うと同時に、子どもたちに自らが主体的に判断し健康的な生活習慣を送れるように指導を行っております。保護者の皆様におかれましても、今後も引き続き、お子様の感染予防と同時に、健康的な生活習慣と体調管理に留意していただきますようよろしくお願いいたします。

校内マラソン大会 限界に挑戦！ 新記録も出ました

10月27日(火)、晴天の中で校内マラソン大会を実施しました。子どもたちは、これまで目標をもって、チャレンジマラソンや体育の授業など懸命に練習を重ねてきました。本番では、自分の目標を達成しようと、一人一人が『限界』に挑戦しました。ゴールをした後、喜びを体全体で表す子や悔しくて涙を流す子もいました。目標を持って練習をがんばり、本番でも全力を尽くしたからこそ味わうことができる気持ちだと思います。

今回のマラソン大会では、プレッシャーを感じながらもそれを乗り越えようとがんばる姿や、今年こそはと決意を胸にひめて目標達成に挑戦している姿、走るのが苦手でありながらも絶対に歩かないで走り続ける姿など、子どもたちのいろいろながんばりを練習の時から見ることができました。また、うれしいことに今年は、2年女子の部で新記録がでるなど好記録がたくさんでした。このマラソン大会に向けた取組を通して、子どもたちには「最後まであきらめない根気強さ」と「自分の限界に挑戦する力」を培うことができたとと思います。大会に向けて、励ましの声をかけるなどして子どもたちを支えてくださった保護者の皆様、そして当日、沿道にて熱い声援をいただきました保護者や地域の皆様、ありがとうございました。



修学旅行前の新型コロナウイルス感染予防講演会

修学旅行をより安全に実施できるように、高浜小学校の学校医である和田診療所の澤田先生をお招きし、新型コロナウイルス感染症の予防と対策についてご講演いただきました。澤田先生には、修学旅行前日や修学旅行の後にも、「6年生の体調はいかがですか。」と電話やメールで、6年生の子どもたちの体調を気遣ってくださる心温まるメッセージもいただきました。修学旅行は、6年生の子どもたちが一番楽しみにしている行事です。講演していただいた内容をもとに当日までしっかりと体調を整え、当日、その後も健康に留意して過ごしています。本当にお忙しい中、ご講演いただきました和田診療所の澤田先生、そして、ご来場いただきました保護者の皆様ありがとうございました。



感謝の心を育んだ修学旅行

爽やかな秋晴れのもと、6年生39人が福井県内1泊2日の修学旅行に行ってきました。1日目は、はたや記念館「ゆめおーれ勝山」で、昭和時代に活躍した織物関連の機械が臨場感たっぷりに動いている様子を見学し、手織りコースター体験を行いました。また、「かつやま恐竜の森」で、ハンマーを片手に約1億2千万年前の白亜紀前期の化石発掘体験をしました。そして、恐竜を中心とした地球史を学習できる国内最大級の博物館「福井県立恐竜博物館」では、恐竜の全身骨格をはじめ、大型復元ジオラマに感動。宿泊したニューサンピア敦賀では、コース料理のマナーを学習しました。2日目は、「サンピア敦賀」で、アイススケート体験。芝政ワールドでは、アトラクションを楽しみました。ジェットコースターやバイキングは貸し切り状態でした。越前和紙の里「パピルス館」で、和紙の歴史や紙すきのやり方を教わり、世界に一つだけのオリジナル色紙を作りました。

どの見学先でも、子どもたちが安心して体験・見学ができるように感染予防対策を徹底し、子どもたちを温かく迎えていただきました。また、旅行会社の方々やバスの運転手さん、ガイドさん、ホテルの従業員の方々には、子どもたちが楽しい思い出ができるように、子どもたちの体調を気遣い、支えていただきました。さらに、「サンピア敦賀」の皆様には、「子どもたちに是非アイススケートリンクを使っていただき、楽しい思い出をつくってください。」と、何と高浜小学校の子どもたちのために、オープン前に、しかも「貸切」で使用させていただきました。例年とは異なる修学旅行でしたが、子どもたちは、福井の魅力を大いに満喫すると共に、多くの方々のご厚意とお力添えで修学旅行ができたことへの感謝の気持ちをもって、2日間の修学旅行を終えました。たくさんの方々を支えられた修学旅行。この経験は、将来子どもたちにとって大きな財産になると信じています。



縦割り校外学習（1～4年生）&校外学習（5年生）

10月30日に、1年生から4年生は、縦割り校外学習を実施しました。4年生が初めて最高学年となって企画運営する縦割り校外学習では、午前中、4年生が、町内各施設を案内する「高浜まちめぐり」を行いました。リーダーとなった4年生は、移動途中の危険な場所で、「大丈夫？」と優しく声をかける様子や低学年の児童が安全に歩けるように配慮する様子が見られました。また、午後からは、4年生が企画したレクリエーションを実施しました。4年生の子どもたちは、上級生として良い見本となるよう率先して準備する姿、堂々と司会進行し、全体に指示を出す姿など、リーダーとして活躍する姿をたくさん見せてくれました。上級生として行事を企画・運営するのは初めてだった4年生ですが、その責任をしっかりと果たすことができました。この経験を学校生活や今後の活動にいかしてほしいと思います。

また、5年生も校外学習で「きのこの森」と「若州一滴文庫」にでかけました。きのこの森では、陶芸体験を行いました。陶芸員から作陶の説明を聞いて、いざ作品づくりに取りかかった5年生は、約1時間かけて、茶碗やコップ、お皿など、思い思いの作品を作ることができました。陶芸体験の後は「若州一滴文庫」へ移動し、水上勉さんをはじめ、渡辺淳さんなどおおい町にゆかりのある人物について話を聞いたり、展示品を見せてもらったりしました。それぞれの学年が、校外活動を実施し、準備段階から当日本番まで、仲間と協力して創り上げていく喜びと達成感を得ることができました。

